

## 〈 総 評 〉

園名： 雄岡山保育園

|     | 項目             | 評価の高いところ   | 改善すべきところ   |
|-----|----------------|--|--|
| I   | 福祉サービスの基本方針と組織 | <p>歴史が長い保育園ということもあり、創立当時の法人理念や基本方針について、受け継がれてきており、職員にも周知されている様子が見受けられました。</p> <p>理念をクラス名に取り入れるなど、保護者や地域に対して広く伝えるための工夫が見受けられました。</p>  | <p>中長期計画は、「将来のビジョン」として策定がされていますが、組織・設備・職員体制・人材育成などの項目についても具体的な内容や目標を用いた表現が望まれます。</p> <p>中長期計画は、PDCAサイクルを構築の上で継続的な取り組みをされることを期待いたします。</p> |
| II  | 組織の運営管理        | <p>職員の就業への配慮としてケースワーカーを招聘するなどの職員支援の連携が取られ、質の向上に向けた研修に関しても、積極的に取り組まれています。</p> <p>地域への機能還元としては、親子教室の開催や自主事業で学童保育を実施するなど、密接な関係を築いています。</p>  | <p>人事考課については、自己評価は行われていますが、園長や主任からの他者評価が確認出来ませんでした。考課項目については、今後の検討の際には、保育現場に即した考課表作成が望まれます。</p>  |
| III | 適切な福祉サービスの実施   | <p>複数施設経営の利点を活かして職員がお互いの保育を見合うなど、サービスの質の向上に向けた研鑽がされていました。サービス開始にあたっては保護者に、項目毎にわかりやすく整理された文書を配布し、理解を求められていました。また、職員間での利用者の情報共有も、様々な会議形態において綿密に行なわれていました。</p>  | <p>利用者の満足度を把握するためのアンケート実施や、苦情や意見に対しては、公表する等、サービスの質の向上に努めていただくことを期待いたします。</p>   |
| IV  | 実施する福祉サービスの内容  | <p>保育計画が施設の理念・方針に基づき、保育目標である三つの子ども像の実現に向け、年齢ごとの発達課題が明確にされていました。</p> <p>保育室には、子どもが主体的に選択できる遊びのコーナーを工夫したり、落ち着いて食事ができるランチルームを設けるなど、生活の目的に応じた空間が確保されていました。</p>   | <p>各種マニュアルは整備されていますが、今後も継続的な見直しが望まれます。</p>   |
|     | 総合所見           | <p>第三者評価受審にあたり、園長、主任を中心に保育園全体が保育の質を高めようとする姿勢が見受けられました。改善事項に関しても、真摯に受け止め、前向きに取り組む風土があり、今回の受審を機に更なる取り組みが行われることが望まれます。</p> <p>また、世代をまたがる歴史や、恵まれた自然環境の立地に加え、平成20年度には新園舎も完成し、整った保育環境のもとで、よりよい保育をされること期待します。</p> |  |